

科目名		運用エンジニアリング				年度	2024
英語表記		operations Engineering				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	RPAツールの種類	RPAに関する知識	1	RPAの理解	RPAが何かを理解する	2	
			2	RPAの種類	さまざまなRPAの特徴を理解する		
			3	RPAの活用提案	どのようなことに活用できそうかを考える		
2	他のソフトウェアとの連携	RPAのインストールと設定	1	PRAのインストール	RPAを使用するための設定ができる	2	
			2	他のソフトウェアとの連携	他のソフトウェアを使用するためのアドイン設定		
			3	他のソフトウェアを操作	RPAツールから他のソフトウェアが操作できるか確認できる		
3	表計算ソフトの自動化（1）	表計算ソフトの自動化	1	範囲（1）	範囲を追加できる	2	
			2	範囲（2）	範囲を自動調整できる		
			3	オートフィル	オートフィルの自動設定ができる		
4	表計算ソフトの自動化（2）	表計算ソフトの自動化	1	範囲をコピー貼り付け	範囲をコピーし、貼り付けができる	2	
			2	列、行、シートを削除	指定のセルとシートを削除できる		
			3	CSVにエクスポート	CSVへのエクスポートができる		
5	表計算ソフトの自動化（3）	表計算ソフトの自動化	1	繰り返し	繰り返し処理で指定の操作ができる	2	
			2	グラフを挿入	グラフを挿入できる		
			3	VLOOKUP	VLOOKUPの機能を自動化できる		
6	文書作成ソフトの自動化（1）	文書作成ソフトの自動化	1	文書にハイパーリンクを追加	文書にハイパーリンクを追加できる	2	
			2	画像を追加	画像を文書作成ソフトに追加できる		
			3	テキストを追加	テキストを文書作成ソフトに追加できる		
7	文書作成ソフトの自動化（2）	文書作成ソフトの自動化	1	画像を置換	文書作成ソフト内の画像を置換できる	2	
			2	テキストを置換	文書作成ソフト内のテキストを置換できる		
			3	文書をPDFとして保存	文書をPDFとして保存することができる		
8	プレゼンテーションソフトの自動化（1）	プレゼンテーションソフトの自動化	1	スライドにテーブルを追加	プレゼンテーションソフトのスライドにテーブルを追加できる	2	
			2	スライドに画像/動画を追加	スライドに画像、動画を追加できる		
			3	新しいスライドを追加	新しいスライドを追加できる		
9	プレゼンテーションソフトの自動化（2）	プレゼンテーションソフトの自動化	1	スライドを削除	スライドを削除できる	2	
			2	スライドコンテンツの書式設定	スライドコンテンツの書式設定ができる		
			3	スライドに項目を張り付け	スライドに項目を張り付けることができる		
10	プレゼンテーションソフトの自動化（3）	プレゼンテーションソフトの自動化	1	プレゼンテーション内のテキストを置換	プレゼンテーション内のテキストを置換	2	
			2	プレゼンテーションのマクロを実行	プレゼンテーションのマクロを実行できる		
			3	名前を付けてプレゼンテーションをPDFとして保存	名前を付けてプレゼンテーションをPDFとして保存できる		
11	ファイル処理の自動化（1）	ファイル処理の自動化	1	文字列を追加書き込み	ファイル処理として文字列を追加書き込みできる	2	
			2	フォルダーを参照	フォルダーを参照できる		
			3	ファイルを圧縮（Zip）	ファイルを圧縮できる		
12	ファイル処理の自動化（2）	ファイル処理の自動化	1	ファイルを作成	ファイルを作成できる	2	
			2	ファイルをコピー	ファイルをコピーできる		
			3	ファイル、フォルダを削除	ファイルやフォルダを削除できる		
13	繰り返し	ルーチンタスクの自動化	1	繰り返し（1）	フォルダー内の各ファイルの基本的な操作	2	
			2	繰り返し（2）	フォルダー内の各ファイルの操作		
			3	繰り返し（3）	フォルダー内の各フォルダーの操作		
14	WEBスクレイピング	情報取得と整理	1	WEBスクレイピング	WEBサイトから欲しい情報を取得できる	2	
			2	WEBスクレイピング	WEBサイトから情報を取得し、テストに保存できる		
			3	表計算ソフトへ保存	WEBサイトから情報を取得し、表計算ソフトに保存できる		
15	RPAによる課題解決	課題解決	1	業務等の洗い出し	仕事や作業のフローを作成できる	2	
			2	課題の検討	注目した作業の課題を発見できる		
			3	RPA実装	課題をRPAにて解決できる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							